

3 . 有効キー機能説明

- (1) F・1 (スタート) - 設定されたパルスの出力を開始します。パルス出力中は画面右上に、「発振中」の文字が表示されます。設定されたパルス数を出力し終わると、「発振中」の文字が「停止中」の表示になります。
- (2) F・2 (ストップ) - パルス出力中に、強制的にパルス出力を停止させます。
ただし、F・2 (ストップ) キーを押した時点で出力中のパルスについては、そのパルス出力が終了するまでは停止しません。
- (3) F・6 (LOAD) - セーブデータの読み込みを行います。
(詳細は4 . データの「ロード」・「セーブ」を参照してください)
- (4) F・7 (SAVE) - 現在の設定データの保存を行います。
(詳細は4 . データの「ロード」・「セーブ」を参照してください)
- (5) F・10 (終了) - 「パルス発生器 (Ver1.0)」のプログラムを終了します。
- (6) (上・下) - 設定項目のカーソルの移動を行います。
- (7) 数値入力有効キー - '0' ~ '9' 及び '.'のみが入力対象となります。

4 . データの「セーブ」・「ロード」

設定ファイル一覧

00000000.000 11111111.111 22222222.222 33333333.333
44444444.444 55555555.555 66666666.666 77777777.777

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0中止

- (1) データ「ロード」
「ロード」したいファイル名にカーソルを移動し、C R (RETURN)キーを押すとそのデータを読み込みます。
- (2) データ「セーブ」
画面下中央に「登録するファイル名を入力してください。」のメッセージが表示されます。
ファイル名を「?????????.???」のフォーマットに従って入力してください
入力文字は、半角文字のみです。
ファイル名の入力後、再度ファイル名の確認を行います。そのファイル名でよければ'Y'を入力してください。
- (注1) データ「セーブ」時に、既にあるファイル名を指定したときは、そのファイルを上書きします。
上書きをする前に、1度確認メッセージが表示されます。
- (注2) F D (フロッピーディスク)から起動している場合、「セーブ」時はF D (フロッピーディスク)に書き込みます。
また、「ロード」時はF D (フロッピーディスク)よりデータを検索します。

5 . その他

- (1) プログラム起動時に、「A X P - P I O 1 の初期化に失敗しました」及び「モードのセットに失敗しました」のメッセージが表示された場合、1度リセットして再起動を行ってください。
- (2) F D (フロッピーディスク)にデータを保存する場合、1枚のF D (フロッピーディスク)で約200のデータが保存できますが、F D (フロッピーディスク)の容量が足りなくなった場合、フォーマットシステム転送済みのF D (フロッピーディスク)に以下に示したファイルをコピーして使用してください。
コピーするファイル
config.sys
autoexec.bat
pc98.bgi
pgen.exe
- (3) パネルのL E D (B A T T) が点灯した場合は内蔵のバッテリーの電圧が規定値よりも低下しています。付属の充電器をパルス発生装置背面パネルの”充電”端子に接続し、充電してからご使用ください。充電器の赤色クリップを赤色端子に、黒色クリップを黒色端子に接続ください。
なおパルス発生装置の表パネルの電源S WをO F Fにしないと充電できません。充電しながらの使用はできません。付属の充電器以外での充電は危険です。
- (4) パルス発生装置にはバッテリーを内蔵していますので、落下その他衝撃を与えないよう注意ください。

6 . 注意事項 (重要)

パソコンの電源をO Nしてからパルス発生装置用プログラムが起動しメニューが表示されるまでの間はパルス発生装置の出力端子から最大電圧/電流が出力されることがあります。従ってこの間はパルス発生装置の出力端子にはなにも接続しないでください。

- (1) 装置電源のO Nから使用開始までは次の順序で操作ください。

パルス発生装置本体，P C 9 8 パソコンの電源はO F Fの状態です。2 筐体間のケーブルを接続する。

なお、このときパルス発生装置の出力端子にはなにも接続してはいけません。

P C 9 8 ノートパソコンの電源を投入する。

P G E N . E X Eプログラムをキーボードから起動する。(または自動的に起動される。)やがてパルス発生装置のメニューが表示されます。

パルス発生装置の電源を投入する

なお、このときパルス発生装置の出力端子にはまだなにも接続しないでください。

パルス発生装置メニュー上でパルスの出力条件を設定する。(または、セーブしたファイルを読み出す)

スタートさせてオシロスコープなどで波形確認を行う。

信号を受ける側の装置からパルス発生装置出力端子に電線を接続する。
スタートさせる

- (2) 使用終了は次の順序で操作ください。

パルスの出力が停止している状態で

パルス発生装置の出力端子から外部へ接続している電線を取り外す。

パルス発生装置の電源をO F Fする。

P C 9 8 ノートパソコン上のメニューで終了操作を行う

PC98 ノートパソコンキーのSTOP を操作する。

PC98 ノートパソコンの電源をOFF する。

- (3) パルス発生が行える状態において、パルス出力信号端子から外部へ電線を接続したままでPC98 ノートパソコンのリセット押し釦SW を操作しないでください。最大電圧 / 電流が出力端子に出力されます。
同じ状態で、PC98 ノートパソコンの電源をON / OFF することもしないでください同様に最大電圧 / 電流が出力されます。

7. 補足事項

パルス周期とデューティ値について

PC98 パソコンの内部で利用できる基準時間は、最小10ms であるため、たとえば周期0.1s の設定の時デューティは10% 以上でないとパルスは出力されません。(0.1sec X 10% = 10ms)

T (Sec)	デューティ (%)	
0.1	10	以上で出力される
0.2	5	
0.3	4	
0.4	3	
0.5	2	
0.9	2	
1.0	1	

また、逆に100% デューティの時のときには電圧は出力され続けOFF となる区間はありますが、上と同様のことから設定分解能が規定され、

T (Sec)	デューティ (%)	
0.1	79	以下でOFF 区間現れる
0.2	89	
0.3	93	
0.4	94	
0.5	95	
0.9	97	
1.1	98	
2.1	99	